

2011 年度後期 学科教育改善委員会 (FD 研修会) 議事録 (案)

1. **開催日時** : 平成 24 年 3 月 26 日 (月) 10:00-12:00
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 吳智深, 小柳武和, 沼尾達弥, 金利昭, 小峯秀雄, 横木裕宗, 井上涼介, 山田稔, 寺内美紀子, 信岡尚道, 藤田昌史, 車谷麻緒, 伊佐治進, 金澤浩明, 木村亨, 石川比奈子
(順不同, 敬称略)

午前

1) **開会の挨拶 (吳)**

2) **後期学科各科目の点検と評価**

1. **都市システム主題別ゼミナール A (吳)**

欠試者が 1 名いた。それ以外は特に問題はなかった。

2. **都市システム主題別ゼミナール B (寺内)**

特に問題はなかった。

3. **都市システム主題別ゼミナール C (村上)**

欠席により, 後日, 学科会議にて報告予定。

4. **都市システム主題別ゼミナール D (藤田)**

ウェブの内容をそのままコピーする学生がいた。不正行為に該当することを指導した。

5. **都市システム主題別ゼミナール E (原田)**

欠席によりファイルの回覧のみ。取止なのか未履修なのか不明な学生が 1 名いた。

6. **物理学 (原田)**

欠席によりファイルの回覧のみ。成績評価に含まれるとわかっているレポートを出さない学生が目立つ。

7. **材料力学 (車谷)**

毎回, 簡単な宿題を出して復習させると成績が向上した。

8. **土の力学 II (村上)**

欠席により, 後日, 学科会議にて報告予定。

9. **都市設備及び住居環境 (沼尾)**

成績が下がった。隔週で行うことに対する不満が目立った。

10. **測量学実習 (桑原)**

欠席により点検書の確認のみ。例年昨年度より成績が向上している。来年度から講義と実習とが分けられる。

11. **建設工学演習□ (横木)**

必修であるが E 評価の学生が数名いる。レポートのみの評価であるにもかかわらず、レポートを出さない学生がいる。

12. **輸送施設工学 (山田)**

非常勤講師の担当の関係で 17 回実施した。取止者が目立つ。初めの非常勤講師の担当時期に履修を止める学生が多く、その次の非常勤講師の担当に影響が出る。

13. **都市地域計画 (金)**

雑談する女子学生が目立ったので厳しく指導した。都市での不合格者が 9 名いた。レポートを出さない学生が

目立つ。

14. 線形代数Ⅱ (村上)

欠席により、後日、学科会議にて報告予定。

15. 水理学Ⅱ (横木)

演習問題を解いて欲しいという学生からの要望があった。

16. 数学解析Ⅰ (植木)

欠席によりファイルの回覧のみ。丸写しレポートや白紙レポートを出す学生が多い。

17. コンクリート構造学 (原田)

欠席によりファイルの回覧のみ。成績の良い学生、良くない学生がパターン化してきている。

18. 構造工学 (呉)

履修者が非常に少ない。建設系の学科では有限要素法を教えて卒業させるべきである。数値解析法の講義との融合や維持管理工学への内容変更を考えていく。

19. 地下構造学 (小峯)

学生が2極化している。授業には真面目に出ているが、試験の成績が極端に悪い学生が目立つ。

20. 都市システム工学特別講義 (沼尾)

他の講義との関係で講義や見学に出られない学生への対応が必要である。レポートの未提出者は減った。

21. 都市システム設計演習Ⅱ (井上)

レポートを丸写しする学生がいた。

22. 上下水道工学 (代理：横木)

中間試験と期末試験の難易度を同レベルにしているが、中間試験に対して期末試験のできが悪かった。

23. 測量学 (桑原)

欠席により点検書の確認のみ。時間割が変更されるので、受講者が2名であった。

24. 交通システム (山田)

取止者数が多い。完成された講義ではあるが、学生の学習時間が少なく、基礎的なこともあまり理解できていない。

25. 数理統計Ⅱ (桑原)

昨年度よりも成績が向上した。昨年度よりも演習や課題を増やした。

26. 社会システム分析 (金)

不真面目で成績の悪い学生が目立つ。リスク分析に関する新しい講義に移行していきたい。

27. 建設施工 (呉)

非常勤講師が担当しており、施設輸送工学と傾向は同じである。

28. 都市システム工学実験Ⅱ (村上)

欠席により、後日、学科会議にて報告予定。

29. 景観工学 (小柳)

取止や欠試の学生が目立った。

30. 構造力学Ⅱ (車谷)

材料力学と同様に、毎回簡単な宿題を課したことが成績向上に大きく貢献した。

31. 都市システム工学製図Ⅱ (寺内)

熱心な学生が減った。授業時間中に終わるような課題設定にしている。

32. 建築学概論 (寺内)

教育学部の学生が受けにきていた。来年度は前期の講義になり、非常勤で対応する。

33. 河川・水環境工学（横木）

受講者数が少ない。非常勤講師には熱心に講義してもらっている。

34. 都市システム工学学外実習（沼尾）

県庁希望者は抽選になり、抽選にもれた学生が実習に行けなかった。希望がかなわなかった場合の対応について考えていく。事務室に実習報告書がある。

35. 卒業研究（呉）

資料未完成により、簡単な報告のみ。

午前の共通討論：

- ・ 可能なかぎり、都市システム工学ゼミナールの成績評価の基準を統一し、共通認識をもって授業に臨む。
- ・ 各講義の対象学年が分かり難いので、点検書に対象学年を記載する欄を設ける。また、点検する順番を学年ごとに行うなどの工夫が必要である。